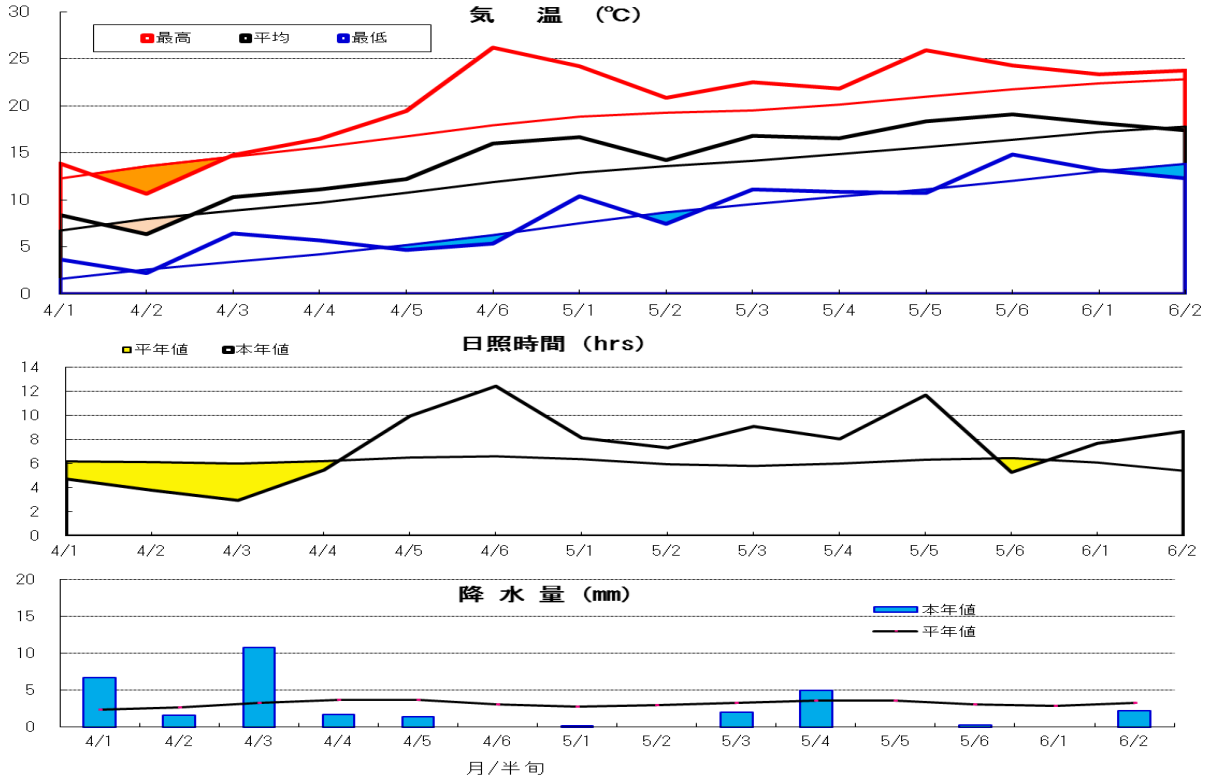


稲作情報3号

平成27年6月9日
JA全農みやぎ

=田植以降の好天等で、生育は平年を上回る！！=

1 気象経過



- ・ 5月の田植以降、高温傾向が続き、仙台では最高気温が真夏日を記録するなど、5月の気温は平年を大きく上回って推移し、6月に入り漸く平年並みに経過している。
- ・ 日照時間も、5月以降平年を大きく上回る多照傾向が続いている。
- ・ 降水量は、5月4半旬に降雨があったが、依然少雨傾向が続いている。6月第2半旬に前線活動が活発になり、平年並みかやや遅れて梅雨入りとなる様相である。

2 田植の進行状況

- ・ 田植盛期は5月10日と平年並みで、終期は1日遅れとなった。
- ・ 好天を反映し、苗質をみると県の生育調査圃等では草丈・葉令ともやや上回ったが、農家によっては徒長気味の苗も見受けられた。

表-1 地域別田植え進行状況

区分	田植始期 (5%)	田植盛期 (50%)	田植終期 (95%)
本年	5月3日	5月10日	5月21日
前年	5月4日	5月11日	5月21日
平年	5月4日	5月10日	5月20日
平年差	1日早い	±0	1日遅い

※ 平年値は平成17～26年の10ヶ年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8ヶ年の平均値。



3 生育状況

- ・田植後の活着状況をみると、高温により発根数は平年より多く、古試の作況圃では、5月10日植で7本強/個体（平年5本程度）となった。
- ・6月1日現在の生育は、草丈で平年比114%，茎数で134%，葉数で+0.6枚となった。
- ・生育は、平年に比べて4～5日ほど進んでいると思われる。
- ・3，4月の積算降水量が多かったことから、乾土効果による土壌窒素の発現は少ないと思われる。

表－2 品種別生育状況(6月1日現在, 県生育調査圃)

品種別	草 丈			茎 数			葉 数		
	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
ひとめぼれ	24.4	100	116	126	122	134	5.6	0.2	0.6
ササニシキ	23.2	94	113	117	126	135	5.2	▲ 0.2	0.4
まなむすめ	24.8	90	102	139	95	133	5.4	▲ 0.2	0.5

※平年比・平年差：前5ヶ年（平成22年～26年）の平均値との比較

4 今後の管理

(1) 補植用残苗の処分

- ・病虫害防除所の予察情報4号によると、葉いもちの発生時期や発生量は「並」と予想されている。
- ・アメダスによる感染好適日の推定によると6月6日に準感染好適日が出現しており、注意が必要である。
- ・補植用残苗が多く見受けられ、残苗を放置すると本田でのいもち病発生源となるので早急に処分することが必要である。

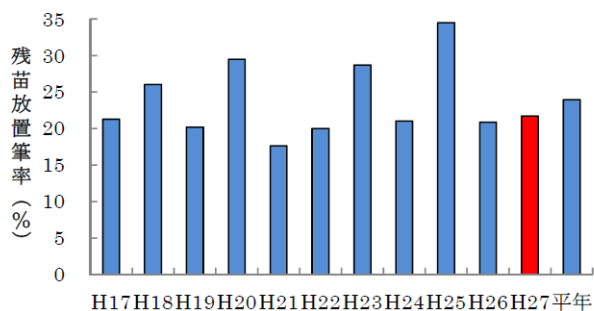


図1 残苗放置筆率(6月上旬)



(2) 初期害虫の発生と防除のポイント

- ・イネドロオイムシとイネミズゾウムシの発生量は平年に比べてやや多いと予想されている。
- ・本田で発生が確認されても要防除水準を目安に薬剤の散布を判断する。(詳細は防除所等 HP)

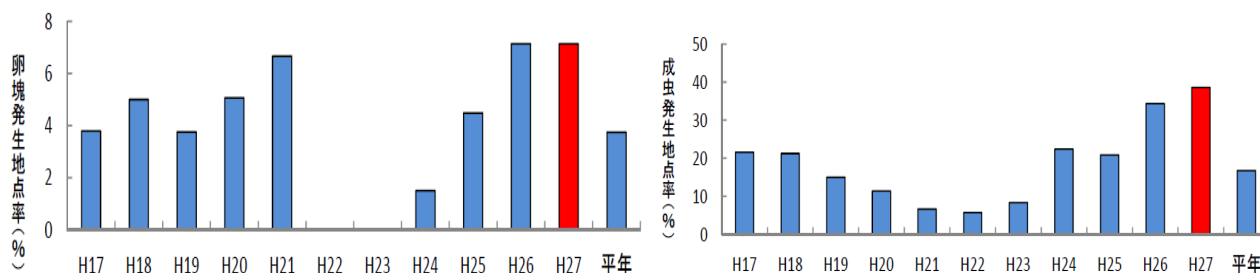


図-2 イネドロオイムシとイネミズゾウムシの卵塊と成虫の発生状況